

全国ゴールデンシニアバスケットボール大会ルール ＜平成28年度版＞

1. 競技時間は6分のピリオドを4回行い、インタヴァル1分、ハーフタイム8分とする（6－1－6－8－6－1－6）。

同点の場合は、コート上の選手が各チーム交互に一組ずつフリースローを行い、どちらか一方だけが成功のときにそのチームの勝ちとする。

キャプテンのジャンケンにより、勝チームが先投か後投かを選択する。

負けチームはゴールを選択し、両チームとも同一ゴールを使用する。

2. タイムアウトは第1～2ピリオドは2回、第3～4ピリオドは3回とることができる。
3. ユニフォームは組合せ番号（プログラム記載）の若いチームが淡色を着用する。但し、両チームの話し合いにより変更することができる。変更の場合は試合審判員に報告をすること。
4. ベンチは組み合わせ番号の若いチームがオフィシャル席にむかって右側とし、相手側のゴールを先攻する。
5. ユニフォームの下にユニフォームと同色のTシャツを着用しても良い。不着用者がいてもかまわない。
6. 混成チームのユニフォームは、番号が重ならない限り自分のユニフォームを着用することができる。また、ビブス（ナンバーリング）着用も認める。
7. メンバー表の提出は必要ありません。スコアシートにはプログラムに記載の選手名簿より転記する。

~~大会当日のユニフォーム番号変更は認めません。~~

8. 当日8名に満たないチームは他チームより補充し8名以上とすること。補充選手に関しては大会本部で調整する。補充選手は自チームからも選手として出場することが出来る。
9. 補充選手のユニフォームはビブス（ナンバーリング）を着用しても良い。
10. 上記以外で疑義が生じた場合は、主催者の判断により決定する。

*上記以外は公益財団法人日本バスケットボール協会競技規則に基づく。